

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）対象事業

ゆがわら海藻プロジェクト

相模湾の藻場再生と、地域資源をフルに活かした新水産業の共創

湯河原町では海藻の種苗生産から栽培、商品化まで一貫して取り組むベンチャー企業「シーベジタブル社」と連携し、湯河原が誇る豊かな「海」や「温泉」などのユニークな地域資源と海藻栽培との相性、および今後の新たな展開可能性を探る実証実験を行っています。

まずは、小規模な養殖実証からスタートし、地域との望ましい連携のあり方を丁寧に重ねてきました。環境保全だけでなく、『返礼品の開発』や『地場漁業の持続可能な生業の創出』を見据え、一歩ずつ慎重かつ着実に、湯河原の未来を共創するプロジェクトを推進していきます。

令和8年度（2年目）目標事業費（全額を海面実証事業に活用）

~~10,000,000~~円

※令和8年度は目標額を達成したため、寄附募集は実施いたしません。



ロードマップ&2年目の計画

■ ロードマップ

1年目（R7年度）
【小規模実証完了】
複数海藻の適応試験
（※完了済）

2年目（R8/今年度）
【中規模実証スケジュール】
■11-12月：資材設備設置
■12-1月：海面栽培・管理
■2-3月：収穫・出荷・検証

3年目（R9年度以降）
【自立的事業運営へ】
海域拡張（量産化）
地元事業者連携・販路確立

■ 今年度（R8）の計画

実際に収穫・出荷・販売までを行い、採算性や作業工数を検証します。

- ① 養殖規模（想定面積：約100m×20m） ※漁業者と調整の上で確定
 - ・アカモク：100mロープ × 最大4本程度
 - ・ハバノリ：10網程度
- ② 主な採算性の検証事項
 - ・目標収量の確保（想定収量に達するか）
 - ・作業工数の算出（必要な人数・時間、人件費、その他経費の把握）
 - ・品質と市場流通性（流通可能な品質の可否・適正な販売価格の検証）



■ ご寄付をいただく企業様への主なメリット

町ホームページへ企業名等の掲載
町広報誌へ企業名等の掲載
感謝状贈呈式の開催（100万円以上）
国の紺綬褒章への推薦（1,000万円以上）

■ 本事業によるSDGsへの貢献

【8. 経済成長・生業】
地場漁師の
収益多角化

【13. 気候変動対策】
炭素固定
（ブルーカーボン）

【14. 海の豊かさ】
相模湾の
生態系を直接回復

【温泉熱を活用した青のりしょうゆ製造】

本プロジェクトでは、温泉熱を活用した青のりしょうゆ製造の実証も行っています。今年度は規模を拡大した実験を計画中ですが、安定した湯量と適切な温湿度管理ができる設備の確保に向け、現在慎重に調整中（予算外）です。